



地域のちよつと困っていることを皆で考えてみませんか？

公民館報編集委員会は月一回会議を開いて、記事にする内容を決めています。そこでは毎月色々な地域の中の話題が話されます。

10月の会議では、ある町会長から「猫の糞を家の周りにされて困っているという相談が来た」という話題が上がりました。何か良い方法はないだろうか？という話になりましたが、なかなかこれといった対策法は出てきませんでした。そのうち「あがたの森のカラスも相変わらず困っている」という話題も上がってきたことから、公民館報の紙面で地区の皆さんの声を聞いてみてはどうだろうかということになりました。

地域猫は、全国的に爆発的に増えることを抑えるために、避妊をボランティアや行政が補助金を出して行っているところも多くなっています。避妊が行われた猫はわかるように目印として耳に切り込みが入って「さくら猫」と呼ばれています。又、最近猫は家の中だけで飼う方が良いことも浸透してきていて、ペットとして飼われている猫も外に出さないお宅も増えています。しかし、野良猫や自由に外出できる家猫もまだいるのも事実で、猫の糞には悩まされている方も多くいらつしやると思います。

また、カラス対策は全国各地この市町村でも共通の悩みとなつていきます。あがたの森の近くにお住いの信州野鳥の会会長の上條恒嗣さんのお話によれば、「第三地区には松本を代表する市街地最大の樹木のうっそうとした『あがたの森』という公園を抱えており、カラスの格好の場所となつていきます。繁殖期等を除く冬春にかけ、夜は集団で聳をとるが、多い時では4千〜4千5百羽が確認されています。カラ

スの被害は路上の糞害が特に眼につき、なかなか落ち苦勞しています。カラスは『学ば』能力が高く、過去に音や枝払い(最小限のレベル)などの対策を行ってきましたが、いずれも数日して慣れてしまひ、有効な手段がとれていません。』というのが現状だそうです。



松本秀峰中等教育学校の屋上に集まるカラス



この他にもちょっとした困りごとや、こんな方法をしたら猫が糞をしなくなったというアイデア、公民館報に対するご意見等を、第三地区公民館まで是非お寄せください。

第三地区公民館

- FAX 35-6344
- メール dai3-k@city.matsumoto.lg.jp

清水中学まち歩き

10月31日に、「私の地元の良さを発見しよう」というテーマで、授業の3・4時間目を使得って清水中学校の1年生がまち歩きをしました。今年は事前に第三地区まちづくり協議会が作成した歴史冊子「お蚕様から生まれた街」を全員が読み、10月24日には都市計画家の倉澤聡さんから1時間の事前学習の講義を聞いてからまち歩きに臨みました。当日はクラスごとに建築家の方が案内人となり、説明を聞きながら2時間ほど歩きました。

- ★いつも歩いている道なのに何も知らずに歩いていたんだなと思った。
- ★松本の地形のことを知ることができて面白かった。
- ★古い建物や道路が変わってないことが分かった。
- ★閻魔堂に本当に閻魔様がいてびっくりした。

感想
★自分の住んでいるまちなのに知らないことが沢山あってびっくりした。
★井戸が沢山あったり、昔からある古いものがたくさん残っていて面白かった。



梶井泉神社の説明を受けています

松本秀峰中等教育学校前の交差点で昔の写真を見ながら、今の違いを学んでいます



東部交番移転のあいさつ

松本警察署 松本市東部交番 所長 柄澤 良一

本年4月から移転建設中の東部交番が完成し、9月12日に移転しました。

より働きやすい環境を頂きましたので、今まで以上に地域の皆様に安心安全な生活を提供できるよう更なる努力をして行く所存であります。これからもよろしくお願ひいたします。



元八十二銀行清水出張所跡に移転した東部交番

第三地区作品展

第20回第三地区作品展が11月3日(日)・4日(月)に松本市勤労者福祉センターの大会議室で開催されました。

今年度も第三地区の全12町会からたくさんのお出展があり、子どもたちの作品も展示されました。



2日間で329人の来場者がありました



東長沢町のこども神輿と、第三地区まちづくり協議会による地区の歴史を伝える活動の紹介コーナー

第18回第三地区ウォーキング大会

10月27日(日)、第18回第三地区ウォーキング大会(第三地区体育協会主催)が開かれまし。今年はまだづくり協議会から発行された歴史マップを活用し、昔と今のまちの違いを比較しながら地区周辺をウォーキングしました。参加者は70名ほどで、楽しく歴史を学びながら親睦を深めることができました。



蚕糸公園の石碑

参加者の感想

◆幸町町会 Yさん

身近な場所であっても、普段あまり訪れることのないような史跡・旧跡を散策できてよかったです。

◆県町南町会 Oさん

第三地区まちづくり協議会から発行されたイラストマップを持って、説明を聞きながらめぐることができてとてもよかったです。

◆幸町町会 Iさん

近くはよく通るけれど、普段あまり行かない場所を訪れることができてよかったです。戸田家の廟園・餌差町の十王堂は初めて近くで見ることができました。

ふれあい会食会

10月4日(金)、1人暮らしの高齢者をお迎えして、ふれあい会食会が開かれました。

あがた保育園の園児たちによる可愛らしい歌の発表や、田中千秋氏によるマンドリンのミニコンサートがありました。最後には参加者全員が「ふるさと」と「信濃の国」を歌い、来場した皆さんは食事と共に楽しいひとときを過ごしました。



あがた保育園児の発表の様子



マンドリンの素晴らしい演奏

湧き水

秋晴れの一日、南信の企業の工場敷地内にある自然散策道歩いてみた。

「健康の森」と称されたその森は、縄文・弥生・平安時代の堅穴式住居が復元されていて、その道筋にはどんぐりが大量に落ちていた。当時大切な食糧であった木の実が豊富な森だったのだろう。さらに歩を進めると、岩肌から流れ落ちる水が小さなせせらぎとなっていて、その奥には水神様が祀られ大切にまもられていた。

私たちの住む街も水が豊かである。鉄道、電気、製糸業など松本が商都として発展するのに豊富な水源が重要な役割を果たしてきたという。この水が昔から善光寺街道を行く旅人の喉も潤してきたのだろう。

令和の時代となった今、街のあちらこちらに整備されている湧き水が、国内外から訪れる旅人たちの喉を潤してくれている。(小口 希志子)

